

JOB REPORT

自然エネルギーと植生フロートによる水の浄化システム

土と緑と動物たちとふれあいながら憩える札幌市の公園「サッポロさとらんど」にある池の浄化をさらに進めるために、公園管理者より規模を大きくして滝をつけてほしいという相談が池にTES植生フロートを納めている玉井環境開発(株)様になり、当社に滝のポンプ設置の依頼がありました。

この公園には、札幌市と中国の瀋陽市との友好都市提携20周年を記念し、両市の経済・技術交流の一環として瀋陽工業大学製の発電用風車が設置されていますが、その他にも太陽電池を使った発電システムがあり、これらの自然エネルギーでポンプを動かしてほしいとの依頼がきました。しかし、すでに自然エネルギーを他でも利用していて電気容量をあまり使えないので、250Wのポンプを2台使用して2つの擬岩の表面を上から水が流れ落ちるような滝の仕組みにし、公園の浄化と憩いの一助になっています。

休みの日に、池の周りの芝生で何組かの家族が弁当を広げてリラックスして楽しんでいる姿を見ると、この仕事をしてよかったと、つくづく思います。



▲ 池の中に擬岩の滝、池の手前に発電用風車と太陽電池発電システムがある



▲ 発電用風車



▲ 太陽電池発電システム



▲ 擬岩の滝と植生フロートにより水質浄化作用と美観を向上

- 使用ポンプ U-25LA形水中ポンプ×2台
- 設置場所 札幌市「サッポロさとらんど」